

# 利賀っ子だより



R 3 . 5 . 2 8

## ○ さらにパワーアップ目指すぞ！

先日の集合学習の振り返りを全校で行いました。いつもと違う仲間と学習したことで、自分自身や利賀小学校のみんなのことを振り返る機会にしようという担当者の考えからです。

「利賀小のみんなは、初めて会う人にも声をかけていた。」「ぼくたちは、体育の準備や片付けの時、積極的に動いた。」「ぼくは、たくさん手を挙げて発表した。」など自分たちのよさを見付けていました。

同時に「上平小学校の人に任せっぱなしにしないようにしましょう。」「上平小学校の人は、廊下を走っていなかった。自分たちも右側を歩くようにしましょう。」「もっと仲良くなるように丁寧な言葉で話をしよう。」など、次の集合学習に向けての目当てを見付けていました。

翌日、早速「右側を歩くだったよ。」と友達に声をかけられ、慌て右に寄って歩いている子供の様子が見られました。

よりよい姿を目指して、声をかける子供、それを素直に受け入れて行動に移す子供、そして、機を捉えて支援する教員、これも利賀小学校のよさだと思いました。

## ○ 「わあ、こんな小さかったっけ。」 保・小サッカー教室



保育園の巡回サッカー教室に低学年の子供たち4名も一緒に参加させていただく機会を得ました。

「わあ、(園庭は)こんな小さかったっけ。」「滑り台、保育園の時、高くて大きいなと思っていたけど、今見たら、高いとは思わない。」など、久しぶりの園庭に感嘆の声をあげていました。

また、自分のところにボールが来なくて泣いていた園児、説明がよく分からないで違う動きをしている園児の様子を見て、「わたしたちもあんなことで泣いていたのかも。」「小さい子は、すぐに意味が分からないんだね。」など、自分たちの内面の成長も感じ取っていました。

学校では、低学年としてお世話をされる側であることが多いのですが、この日は、自分たちがリードする側となって楽しむことができたようです。

学校では、低学年としてお世話をされる側であることが多いのですが、この日は、自分たちがリードする側となって楽しむことができたようです。

(高田 公美)

